

帯広市

道東自動車道の開通を機に 十勝圏の魅力を道内外に 積極的にアピール

2011年10月29日、道東道夕張IC～占冠IC間が開通し帯広が札幌圏や新千歳空港と直結した。開通から1年を経て帯広の人と物の流れはどう変化したのだろうか？帯広市の観光課と都市計画課を訪ね、地元から見た高速道路整備の効果について伺った。

利用者の増加、時間の短縮、観光客の増加 いいことずくめの道東道開通

一道東道の開通に際しての率直な感想は？

観光課加藤係長：道央圏に出かける時に峠越えが大変だなという気持ちがなくなりました。特に冬期間の峠部の通行では危険を感じることもありましたが、1年を通して気軽に遠出できるようになったのはありがたいです。これは逆に言えば道央圏の方が帯広に来ていただく際にも同じ印象を持っていただけるようになったわけですから、帯広市としては大きなチャンスと捉えてい

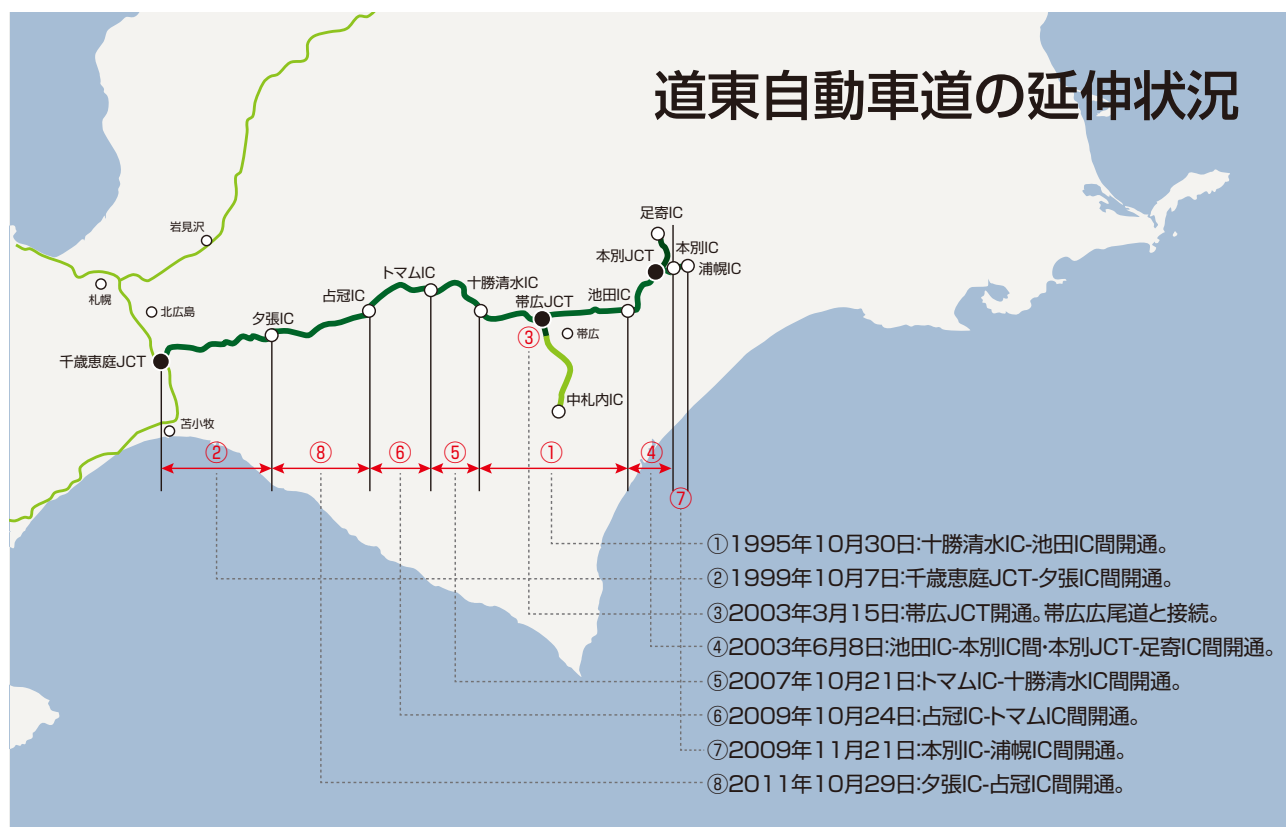
ます。全国的には交通網の整備によって地方の中小都市の経済活動が大都市圏に吸い出される「ストロー効果」が見られるようですが、十勝の場合は逆に道央圏のみならず新千歳空港経由で道外からも人々を呼び込めるよう、地域の魅力をどんどん発信していきたいと思っています。

都市計画課鈴木主任：道東道が開通したと言ってもまだ北見や釧路までつながっていないことから、やはり帯広が道東の広域ネットワークの中核となるようにさらなる延伸に向けての活動をしっかりしていかなければいけないなと気持ちを新たにしています。



左から
帯広市商工観光部観光課観光振興係
加藤 係長
帯広市都市建設部都市計画課
久保紀明 課長補佐
帯広市都市建設部都市計画課都市施設係
鈴木 主任

道東自動車道の延伸状況



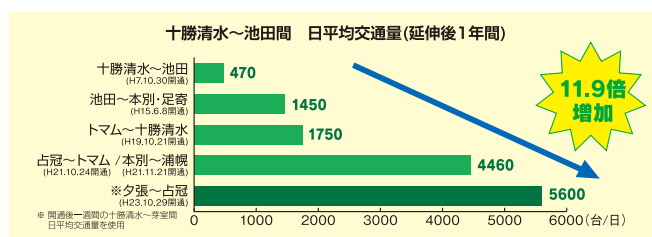
—具体的にはどのような効果がありましたか？

加藤係長：年度の関係でまだ正確な数値は出ていませんが、道内の他の圏域の観光客が横ばいから減少するなかで十勝圏だけは年間約900万人と微増傾向にあります。春から夏にかけての行楽シーズンでは、観光地などにおいて帯広ナンバー以外の車が目につきました。また市内の豚井屋さんなどでは、休みの日に行列を見かけることも増え、これも道東道の開通効果だと思っています。

鈴木主任：1995年に十勝清水ICと池田IC間が開通した当時は飛び地での供用ということもあり、利用者増が見込めない状況でした。しかしその後の延伸や道東道と接続する帯広広尾道の一部が開通したおかげで、今年度は当初の12倍以上まで利用者が増加する見込みです。

道東自動車道の整備効果

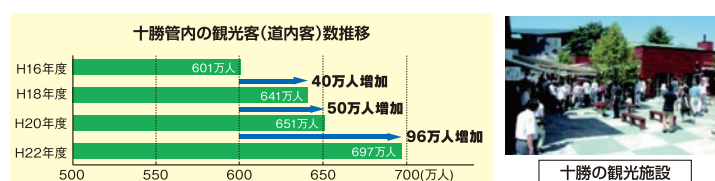
■交通量の増加



■時間の短縮



■観光客の増加



(帯広市提供)



帯広尾道帯広川西ICから南に23km、帯広市南部の十勝幌尻岳山麓に広がるポロシリ自然公園オートキャンプ場。自然加工体験施設やパークゴルフ場を併設している

延伸を見据え官民一体で取り組む 利用促進プロジェクト

—どんな方法で魅力をアピールしているのですか？

加藤係長：管内の58団体が官民一体となって組織している「オールとかち魅力発信連絡協議会」や管内全19市町村による「とかちの魅力発信プロジェクト推進協議会」などが中心になって、イベントの開催、キャンペーンの実施などを行っています。最大の魅力である「食」をアピールするために、さっぽろオータムフェストなどへの出展も行いました。

十勝といえば豚丼が有名ですが、魚介や豚肉、野菜を炒め、炒り卵をあわせて醤油で味付けした「中華ちらし」が市内20店舗以上で、十勝産小麦を使った牛挽肉のあんかけラーメン「とかち牛じゃん麺」が12店舗で提供さ



十勝は六花亭や柳月といった全道ブランドの菓子店が本拠を構え、十勝・帯広地域で100件を超えるスイーツのお店がある

れ、知る人ぞ知るご当地グルメにも注目が集まっています。また、品質の高いチーズ作りも盛んに行われており、昨年春からJAL国際線のファーストクラスで提供されているチーズ15種類のうち8種類が十勝産となっています。

この他、小麦、豆、卵、生クリームやチーズなど全ての材料が十勝産でまかなえるスイーツもオススメです。市内の洋菓子店のショートケーキは1個180円前後が中心で、札幌の半分の値段となっています。(社)帯広観光コンベンション協会では32店舗から5店舗を選びチケット1枚と交換できる「菓子王国十勝!スイーツめぐり

券♪」(5枚つづり・500円)を発行しています。1店舗あたり100円でさまざまなスイーツを味わえることが人気となっています。こうした食を通じた連携をもとに、帯広市では食と農林漁業を柱とした「フードバレーとかち」を提唱し、十勝全域とスクラムを組んでまちづくりを展開しています。

一方で交通網の整備により十勝圏が通過型の観光地とならないよう、然別湖温泉や十勝川温泉などではアウトドア体験やラフティング、手づくり体験などと組み合わせた滞在型・体験型の観光にも力を入れています。ここ数年、市営のポロシリ自然公園オートキャンプ場では滞在型のキャンパーが増え、キャンプ場をベースに各地を観光してまわる姿も増えています。2010年頃からは地元の利用客数を管外の利用客数が超えるほどになりました。家族でひとつのサイトを利用すれば1泊1,800円という安さと整備された施設が魅力なのだと思います。

鈴木主任：道東道の利用者に向けた取り組みとして「十勝スカイロード湯～遊～キャンペーン」を開催しています。占冠ICから浦幌IC、足寄IC間にあるSAかPAでスタンプを押した専用のパンフレットを十勝・釧路地区の95ヶ所の温泉や観光施設で提示すると、各種割引き



チケットはJR帯広駅のとかち観光情報センター他参加店舗や主要ホテルにて販売中。問い合わせ:(社)帯広観光コンベンション協会
TEL:0155-22-8600



道東道夕張～占冠間の開通をPRするイベントの様子
(写真は北広島市でのイベント)

サービスを受けられます。こうした対外的な取り組みのほか、十勝管内19市町村での巡回パネル展も開催し、高速道路利用促進活動も行っています。

都市計画課久保課長補佐：利用者が増えることで北見や釧路への延伸にはずみがつきますし、一部対面通行部分での重大事故をなくすための4車線化にもつながっていきます。山岳路線ということで橋梁やトンネル部分の拡幅という問題がありますが、より安全な道路という意味でぜひ実現に向けて努力したいところです。

一帯広尾道の現状はどのようになっていますか？

鈴木主任：帯広尾道に関しては利用が無料ということもあり、観光客だけでなく地元の方により多く利用されています。特に農繁期には大型車の通行が多く、農産物の輸送に貢献しています。市内からとかち帯広空港に向かう際のメインルートとしても利用されていますが、南十勝地域からの救急搬送の時間短縮や、災害時など国道236号線の代替ルートとしての役割も期待されています。特に広尾町にある楽古橋は崩壊すると交通が遮断されてしまうため、費用対効果だけでなく緊急時への備えという意味でも延伸によって大きな役割を果たすことになると思います。

—ありがとうございました。



施設利用料金の割引だけではなく、スタンプ+施設確認印で温泉宿泊券等が当たる抽選に応募できる

利用客が大幅に増加した札幌～帯広の都市間バス

●道東道の開通効果が顕著に表れているのが札幌～帯広を結ぶ都市間バスのポテトライナーだ。十勝バス旅客本部の長沢敏彦部長に都市間バスの現状を伺った。

従来はノンストップで4時間かかっていましたが、開通後は20分短縮して3時間40分となりました。ただし占冠PAでの10分間のトイレ休憩を設けたので、乗車時間自体では30分の短縮となります。あわせて3往復増便して10往復体制となり、うち2往復は札幌～帯広を3時間30分で結ぶ直行便となりました。そのため帯広発の始発バスが従来より30分遅い7:30発に変更になり朝の時間に余裕ができました。最終の札幌行きも19:15分発と従来より15分遅くなっています。早く便利になった運行体制により、2012年の利用者は前年同期(11月～9月の11ヶ月間)に比べ150%、12月～3月に限って言えば前年対比164%となっております。乗務員からの感想としては、天候を問わず定時運行がしやすくなった点が開通の最大のメリットとして挙げられています。お客様の声としては、何よりトイレ休憩をとれるようになったことが好評のようです。山道を走らなくなったおかげで体が振られ

ずに済み、ぐっすり眠れるようになったという声も少なからずありました。予約制なので確実に座れる点もバスを選んでもいただける理由となっており、そのため週末などは同時に2台～3台で走るほど利用していただいております。



帯広駅バスターミナルに停車中の札幌～帯広都市間バス「ポテトライナー」